

お詫びと訂正

2026 年版 大学赤本シリーズ『専修大学（前期入試〈学部個別入試〉）』におきまして、内容の一部に誤りがございました。訂正箇所をお知らせいたしますとともに、謹んでお詫び申し上げます。

教学社編集部

記

2025 年度 国語 p.179、180

大問一 問五

誤 解答：⑤

正 解答：③

解説：傍線部Aの直後で、「わたし」が青梅を次々ともいでいることに着目する。青梅と落ちた梅については、空欄Dの一つ前の段落に「梅酒に最適なのは青梅である」「落ちた実は二級品の扱いを受けている」とあることから、〈二級品にならないよう枝の青梅をもいでくれ〉と梅が「催促」していると読み取れる。よって③が適当である。⑤は「梅酒のために梅の実を拾っている」が不適当。落ちた梅を拾うのは、梅酒のためではなく、単に拾っているのである。

以上